

令和6年度 聖籠町放課後子ども教室 事業評価

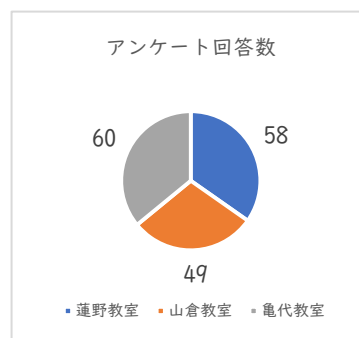
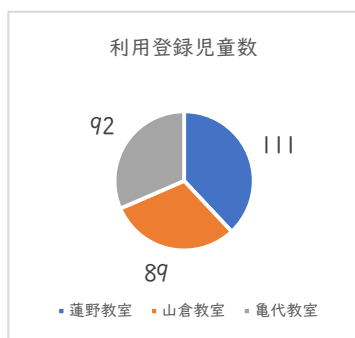
Ⅰ 実施状況

(1) 放課後子ども教室開設日													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
蓮野教室	9	15	15	13	3	17	17	11	12	16	16	9	153
山倉教室	8	16	15	13	2	14	18	17	10	15	12	6	146
亀代教室	10	17	12	14	3	17	14	17	9	16	15	9	153
(2) 放課後子ども教室参加のべ人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
蓮野教室	325	540	739	635	146	998	953	537	526	750	813	448	
山倉教室	191	384	584	471	85	578	695	535	364	555	474	232	
亀代教室	232	352	451	532	115	730	569	492	334	568	530	300	
(3) 1日当たりの利用児童数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
蓮野教室	36	36	49	49	49	59	56	45	33	47	51	50	
山倉教室	24	24	39	36	43	41	39	54	24	46	40	39	
亀代教室	23	21	38	38	38	43	41	55	21	38	35	33	
(4) 学年別登録児童数													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計						
蓮野教室	20	25	33	19	8	6	111						
山倉教室	28	40	11	7	3	0	89						
亀代教室	25	29	17	15	5	1	92						

2 アンケート結果 (登録児童数 292 名中 連絡システム登録者 231 名のうち 167 件回答) 回収率 72.3%

(1) 所属内訳

	利用登録児童数	連絡システム登録者数	アンケート回答数
蓮野教室	111	84	58
山倉教室	89	81	49
亀代教室	92	66	60
合計	292	231	167

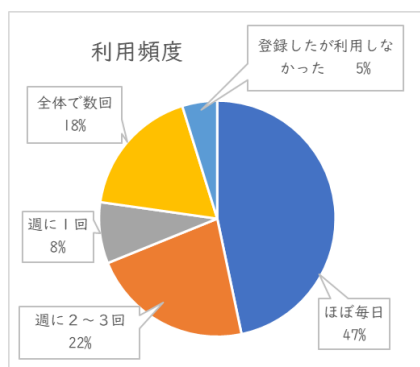


アンケートは、保護者連絡システム「すぐる」を経由して3月11日に配信した。締め切りは3月21日とし、およそ10日間の回答期間を設定している。

利用している児童1名ごとに回答を依頼し、回収率は72.3%であった。昨年度は35%であり、保護者連絡システムが導入され、改善が図られた。データの信頼性を高めることができた。ただし、保護者連絡システムへの登録率が80%にとどまり、さらに呼びかける必要がある。

(2) 放課後子ども教室の利用頻度

Q:どのくらいの頻度で利用していましたか。最も近い頻度を一つ選んでください。



ほぼ毎日が47%、週に2～3回が22%で、回答いただいた利用者のおよそ70%は積極的に利用いただいたことが分かる。実際の開設日数と利用児童延べ人数から1日平均の利用者数は、蓮野小47人、山倉小37人、亀代小35人となり、登録者数から考えるとおよそ40%の利用率で、昨年度と同様の状況だった。

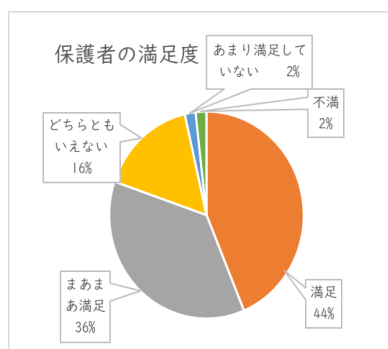
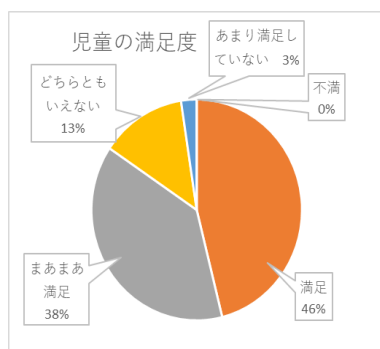
(3) 登録したが利用しなかった理由

Q:登録したが利用しなかった方にお聞きします。それはなぜですか。

選択項目	回答数
1. 子どもが行きたいと言わなかったから	27
2. 利用の仕方が分からなかったから	0
3. 利用する機会がなかったから	3
4. 利用するメリットを感じなかったから	0
5. その他	14

「子どもが行きたいと言わなかった」が多数であるが、「その他」には、最後まで利用すると通学バスがないため利用できない、通学バスの児童に対する対応を検討してほしいという声が上がっている。

(4) 利用児童・保護者の満足度



児童の肯定的評価が84%、保護者の肯定的評価が80%であった。児童評価と保護者評価については、多少の差異はあるものの、同傾向といえる。否定的評価の内容を精査し、事業の目的を周知し、安定的な事業運営を目指すことが重要である。

(5) 記述内容

Q:お気づきの点があればご入力ください。

<要望・改善点>

・子ども同士のトラブル	騒がしい状態の改善、トラブルへのフォロー、ルールが守れない児童は利用停止、
・利用時間	17時まで利用時間延長 終了時刻の順守
・タブレットの利用	A Iドリルなどの利用許可
・体験活動の充実	体育館の確保、学習活動の強化、運動活動の充実、
・広報活動の充実	活動状況や支援員等の紹介
・帰宅方法の時間調整	一人で帰るのは心配、通学バス確保の検討または最寄りのエコバス
・教室運営	開設日の増加、支援員の増員、入退室情報の共有

<感想・評価点>

・最初は子ども自身、どんなものかわからずあまり利用しませんでした。児童クラブの利用時間が長いため、後半になり自分から放課後子ども教室を利用するようになりました。今は、放課後子ども教室が楽しいと自分から進んで利用させてもらっています。大変ありがたく助かっています。ぜひ来年以降もよろしくお願いします。
・行くか行かないかは子供に任せており、今年度はあまり利用していなかったようですが、保護者としては放課後の居場所が児童クラブ以外にもあるというのはありがたいと思っています。
・体育館が使える、体を動かすことができてとてもよかったようです。ありがとうございました。
・時々、上級生とトラブル？があったのか、行きたくないということがありましたが、ほとんど楽しく遊んで過ごして帰ってきていたので、ありがとうございました。
・ランチルームや体育館で遊べたり、塾の先生が来てくれたりと、楽しく過ごしてる話を子どもから聞き、とても助かっています。
・勉強もみてもらったり、迎えの時も出てきてもらったりして、子ども自身も好きな先生がいて、ありがたいです。
・いつも楽しく利用させていただいています。スタッフさんや、外部の方々との関わりもあり、いい体験、経験をさせていただいています。今後も利用したいです。
・体を動かすことが好きな子どもが、初めて絵手紙を体験して、とても楽しかった！と笑顔で帰ってきました。
・家の用事や仕事などがある時や娘が行きたい時に利用しております。安い保険料で子どもが学んだり遊んだり出来る場があり、大変有り難いです。これからも継続して欲しいです。
・エアホッケーや、折り紙など教えてもらったそうで、家で教えてもらったら、一緒に遊びました。ありがとうございました。
・子供は楽しかったというので満足です。いろんなことに取り組んで頂いてありがたいです。

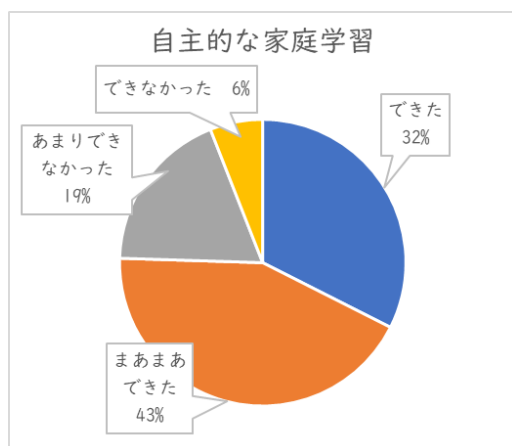
いただいたご意見を検討し、改善につなげていく。保護者からは、本事業に対する期待の大きさがうかがえるが、学校の教育活動が優先であること、安心安全な居場所とするための約束やそれぞれの立場からの協力が必要であることへの理解を図りつつ、子どもたち自身が、トラブルや思い通りにならないことを通して、人と関わりながらも成長できる居場所となるよう、事業としての充実を図っていく。

3 家庭等における学習習慣の定着

町では、家庭学習習慣の定着を目指し、各小学校において強調週間を設定するなど取組を進めてきているが、学校以外での学習に主体的に取り組むことが課題の一つとなっている。

放課後子ども教室の開設による学習タイムの位置付けや、学古堂ジュニア（放課後子ども教室での学習塾講師による宿題サポート）を設置し、学校と家庭以外でも学習を行う場が増やしている。

そこで、アンケートにおいて、「お子さんは宿題など学校以外での学習に自ら取り組むことができましたか。」という設問を設定し、目標値を各校の家庭学習強調週間の平均値である80%と設定した。結果は以下の通りである。



本年度の目標値	本年度の実績値 (R 6 年度 3 月)
80%	75%

目標値は達成できなかったものの、75%の児童の保護者が子どもたちが自ら学習に取り組むことができたと評価していることから、本事業が自主的な学習を進める機会の提供として、ある程度成り立っていると判断できる。

4 次年度本格実施へ向けた改善点

- ・放課後子ども教室統括コーディネーター（三教室を巡回指導する専門員）の設置。
- ・学古堂ジュニアの週1回 90 分へ拡充。（教室ごとに曜日を固定。60 分から 90 分へ）
- ・利用料の徴収 消耗品費実費相当の月当たり 1 人 100 円の負担。
4 月利用開始の場合、800 円（保険料）+ 100 円（利用料）× 11 カ月 = 1,900 円
- ・利用者が主体的に利用する居場所であることの周知を継続。
- ・児童クラブとの連携は引き続き検討。

5 総括

アンケート結果から、利用児童、保護者にとって有意義な事業であったと評価できる。

事業のさらなる充実を図るには、予算確保、人材確保が重要であるものの、事業目的に対する保護者、学校、地域それぞれの立場からの理解と協力が不可欠である。次年度の登録状況としても必要感の高い事業であると判断できる。令和 7 年度は本格実施となるため、今年度の反省を踏まえ、広報活動の充実を図り、町全体の理解と協力が得られる事業となるよう進めていく必要がある。